

【格付維持/新規格付】 環境再生保全機構

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

第6回環境再生保全機構債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

良好な環境の創出、環境保全などを目的とする公共性の高いさまざまな業務を手掛けている。環境省にとって研究以外の事業を担っている唯一の独立行政法人で、政策上の重要性は高い。環境行政の広がりが見込まれる中で、今後もその執行を担っていくと考えられる。民主党は環境政策を重視しており、機構の事業が大きく見直される可能性は低いと見ている。

承継勘定、基金勘定、公害健康被害補償予防業務勘定、石綿健康被害救済業務勘定の4勘定のうち、債券の発行は承継勘定のみで行っている。承継勘定は前身の環境事業団の主要業務だった貸付事業と建設譲渡事業に関わる債権の回収を行っている。取引先に中小企業が多く、貸し倒れリスクが大きい。全体の債権回収が進むにつれ、徐々に回収が困難な債権の比重が高まっており、リスク管理債権比率は悪化が続いている。しかし、国は貸倒損失が発生した場合、補填のために必要な補助金を予算措置することになっており、機構の負うリスクは限定的とみている。回収が終われば、承継勘定は廃止される。承継勘定以外の事業は基本的に収支が均衡しており、機構はリスクを負っていない。承継勘定における割賦債権や貸付金の回収状況や資産の質に加え、第2期中期目標期間(2009年度~2013年度)終了後も国の支援姿勢が変わることがないか、などに注目している。格付の方向性は安定的。

当格付に適用した主要な格付方法は「政府系機関の格付の考え方」である。この格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに下記ウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/rating/methodology.html>

【格付対象】

発行者：環境再生保全機構

| 名称 | 格付 | 格付の方向性 | | |
|---------------|---------------|-------------|------------|---------|
| 発行体格付 | AA (維持) | 安定的 | | |
| 名称 | 発行総額 (百万円) | 発行日 | 償還日 | 格付 |
| 第2回環境再生保全機構債券 | 5,000 | 2005年11月4日 | 2010年9月21日 | AA (維持) |
| 第3回環境再生保全機構債券 | 5,000 | 2006年11月22日 | 2011年9月20日 | AA (維持) |
| 第4回環境再生保全機構債券 | 5,000 | 2007年11月19日 | 2012年9月20日 | AA (維持) |
| 第5回環境再生保全機構債券 | 5,000 | 2008年11月20日 | 2013年9月20日 | AA (維持) |

<新規格付対象>

| | |
|------|--|
| 名 称 | 第 6 回環境再生保全機構債券 |
| 発行額 | 50 億円 |
| 発行日 | 2009 年 11 月 24 日 |
| 償還日 | 2014 年 9 月 19 日 |
| 表面利率 | 0.79% |
| 格 付 | A A (新規) |
| 受託会社 | みずほコーポレート銀行 |
| 担 保 | 一般担保付 |
| 備 考 | 会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、独立行政法人 環境再生保全機構法に基づく受託会社が置かれる |

☆発行体格付は、発行体が負うすべての金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見である。発行体格付は、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務等の格付は、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付を下回る、または上回ることがある。